

「川内北中学校の「薩摩川内ふるさと検定」の取組」

1 学校名

薩摩川内市立川内北中学校

2 学年・人数

1年 255人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

ふるさと・コミュニケーション科の時間 薩摩川内市立川内北中学校

(2) 発表の日時・場所

ふるさと・コミュニケーション科の時間・文化祭

薩摩川内市立川内北中学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

泰平寺（たいへいじ）（708年）、和睦石（わぼくせき）（1587年）、

太平橋（たいへいばし）（明治8年）

新田神社・可愛山陵（にったじんじゃ・えのさんりょう）（明治7年）

薩摩国府・薩摩国分寺跡（さつまこくふ・さつまこくぶんじあと）

（702年・741年）

その他（校区外の史跡）

(2) 特徴

校区内外の史跡等を調べたりまとめたりする活動を行った後、「薩摩川内ふるさと検定」を作成し、校区内の小学校の学習につなげている。

5 保存会や地域との連携の具体

夏休みの課題として、史跡等の調べ学習を行わせている。調べ学習において、史跡保存会や地域の有識者からの聞き取りを行ったりしている。

6 活用の取組の工夫した点

夏休みの課題にすることで、時間のゆとりができ、職員も一緒に史跡等を調べることができた。また、「薩摩川内ふるさと検定」は、小学生にも解きやすいように、三択問題にしてまとめている。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



〔ふるさと検定問題をプレゼンで実施〕



〔調べた内容をプレゼンで発表〕

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒の感想】

自分たちが住んでいるすぐ近くにこのような史跡があることに驚いた。このような史跡を大切に保存していきたい。地域の方から，史跡等について説明を聞き，地域のことをもっと知りたくなりました。今回は，プレゼンによる発表を全校に発信できたが，いろいろな方に自分たちが作成したふるさと検定問題を解いてもらいたいです。